

小学校第3学年
 単元別確認テスト
 1

単元名 　〔九九の表とかけ算（啓林館）〕 　〔かけ算（東京書籍）〕	①～③ (/ 3)	④⑤ (/ 2)	⑥～⑧ (/ 3)	得 点 (/ 8)
3年 ()組 ()番 名前 ()	知識・理解	技能	考え方	

- にあてはまる数をかきましょう。
- ①
 　
 6×5
 は、
 6×4
 より

 大きい。
- ②
 　
 $4 \times 7 =$ $\times 4$
- ③
 　
 どんな数に
 　
 0
 　
 をかけても
 　
 答えは

 になります。
- 次の計算をしましょう。
- ④
 　
 $9 \times 10 =$
- ⑤
 　
 $0 \times 6 =$
- 次の問いに、答えましょう。
- ⑥
 　
 まりこさんは、いつも、7のだんの九九の
 　
 7×6
 　
 をまちがえてしまいます。しかし、
 7×7
 　
 はとくいで、49と正しく答えることができます。
 そこで、たかしさんは、「
 7×6
 　
 の答えを見つけるには、
 7×7
 　
 を使うといいよ。」といいました。
 たかしさんの考えをつかって、正しい答えをだすには、どのようにすればよいでしょう。ことばや式を使ってせつめいしましょう。

- かおるさんは、
 15×3
 の答えをもとめるときに、
 　
 2つのかけ算にわけて、考えました。次の問いに、答えましょう。
- ⑦
 　
 かおるさんは、図のどこにせんをひいて、答えを考えたでしょう。下の【かおるさんの考え】をもとにして、図の中にせんをひきましょう。

【図】

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

○ ○ ○

【かおるさんの考え】

15×3

7

$\times 3 =$

$\times 3 =$

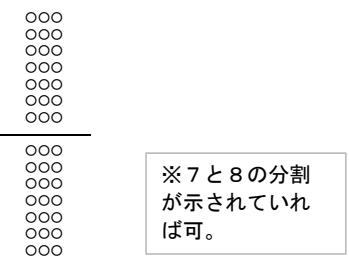
あわせて

- ⑧
 　
 右上の【かおるさんの考え】の中の

 にあてはまる数をかきましょう。

【⑥～⑧考え方】

小学校第3学年 単元別確認テスト1 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単 元 名		〔1 九九の表とかけ算（啓林館P6～P15）〕〔1 かけ算（東京書籍P6～P21）〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		（3）乗法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。 ア 2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算の仕方を考え、それらの計算が乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。 イ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。 ウ 乗法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。							
問題番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	乗数が1増えると、被乗数の数だけ増えるという乗法のきまりを理解している。	6			○		○		80%
②	かけ算の交換法則を理解している。	7			○		○		90%
③	乗数が1減ると、被乗数の数だけ減るという乗法のきまりを理解している。	0			○		○		90%
④	（1位数）×10の計算が確実にできる。	90		○			○		90%
⑤	乗数が0の場合の乗法の計算が確実にできる。	0		○			○		90%
⑥	乗数が1減ると、積は被乗数の数だけ減るという乗法のきまりを使って、求め方を説明することができる。	7のだんは、かける数が1減ると7減るので、 $7 \times 7 = 49$ をもとにすると、 7×6 は49から7減るので42になる。	○					○	70%
⑦	式から分割の仕方を考えることができる。		○					○	70%
⑧	被乗法が10を超える乗法を分配法則を使って考えることができる。	21 8 24 45	○				○		70%
合 計 8 問			3	2	3	0	6	2	81%

小学校第3学年 単元別確認テスト②

単元名〔わり算（啓林館）〕 〔わり算（東京書籍）〕	① (/ 1) 知識・理解	②～⑥ (/ 5) 技能	⑦～⑩ (/ 4) 考え方	得点 (/ 10)
3年 () 組 () 番 名前 ()				

○ () にあてはまる数をかきましょう。

① $24 \div 3$ の答えは、() のだんの九九をつかってもとめることができます。 [①知識・理解]

② $16 \div 4 = ()$

③ $() \times 6 = 42$

④ $9 \times () = 54$

⑤ $7 \div 7 = ()$

⑥ $0 \div 8 = ()$

[②～⑥技能]

○ 次の問題を読んで、答えましょう。

⑦ 35このキウイを、1パックに5こずつ入れました。パックは、まだ2このこっています。パックは、さいしょいくつあったでしょう。
式

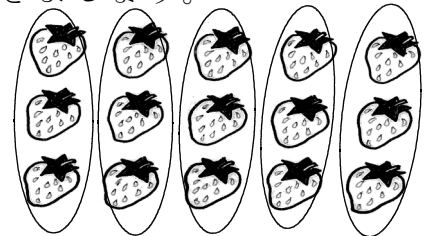
答え

○ $15 \div 3$ の式になる問題を作りました。

よしおさんが作った問題では、 $15 \div 3$ の答えが、人数になるそうです。
はるこさんが作った問題では、 $15 \div 3$ の答えは、こ数になるそうです。
つぎの() にあてはまる数やことばをかきましょう。

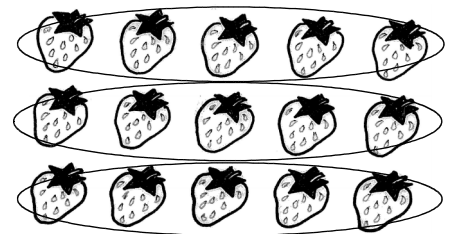
⑧ よしおさんの問題

いちごが15こあります。1人に
() ずつ分けると、() に
分けることができますでしょう。



⑨ はるこさんの問題

いちごが15こあります。() に
同じ数ずつ分けると、() は何こ
になるでしょう。



○ 次の問いに答えましょう。

⑩ 式が $32 \div 8$ になるわり算の問題を作しましょう。

[⑦～⑩考え方]

小学校第3学年 単元別確認テスト2 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単 元 名		〔 2 わり算（啓林館P16～P26） 〕 〔 4 わり算（東京書籍P38～P50） 〕							
〈学習指導要領〉		（ 4 ） 除法の意味について理解し、それを用いることができるようにする。							
A 数と計算		ア 除法が用いられる場合について知ること。また、余りについて知ること。							
		イ 除法と乗法や減法との関係について理解すること。							
		ウ 除数と商が共に 1 位数である除法の計算が確実にできること。							
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目 標 正 答 率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	除法と乗法の間係を理解している。	3			○		○		90%
②	（ 2 位数） ÷ （ 1 位数）の除法が確実にできる。	4		○			○		90%
③	乗法の計算をもとに，（ 2 位数） ÷ （ 1 位数）の除法が確実にできる。	7		○			○		90%
④	乗法の計算をもとに，（ 2 位数） ÷ （ 1 位数）の除法が確実にできる。	6		○			○		90%
⑤	被除数と除数が同数の除法が確実にできる。	1		○			○		90%
⑥	被除数が 0 の除法が確実にできる。	0		○			○		90%
⑦	問題文から除法（等分除）と加法の場面を読み取り、除法と加法を使った計算式 を考えることができる。	3 5 ÷ 5 = 7 7 + 2 = 9 9 こ	○				○		70%
⑧	問題文から条件に合う問題（等分除の問題）を考え、当てはまる数字や言葉を導 くことができる。	3 こ 何人	○				○		70%
⑨	問題文から条件に合う問題（包含除の問題）を考え、当てはまる数字や言葉を導 くことができる。	3 人 1 人分	○				○		70%
⑩	問いの条件に合う除法の問題を考えることができる。	・ 3 2 枚の色紙があります。8 人に同じ数ずつ分けると， 1 人分は何枚になるでしょう。（等分除の問題） ・ 3 2 枚の色紙があります。1 人に 8 枚ずつ分けると，何人に分けられるでしょう。（包含除の問題） ・ 赤の色紙が 3 2 枚， 青の色紙が 8 枚あります。赤の色紙は青の色紙の何倍でしょう。（倍を求める問題）	○					○	70%
合 計 1 0 問			4	5	1	0	9	1	82%

小学校第3学年
 単元別確認テスト
 3

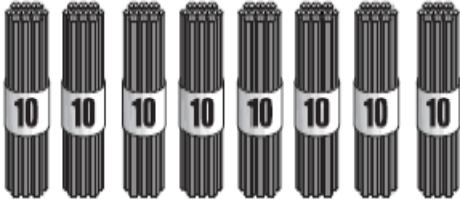
単元名	[わり算(啓林館)] [大きい数のわり算(東京書籍)]	① (/ 1) 知識・理解	②～⑤ (/ 4) 技能	⑥⑦ (/ 2) (/ 7) 考え方	得点
3年 () 組 () 番 名前 ()					

○ 次の問いに答えましょう。

① はなさんは、 $80 \div 4$ の計算のしかたを、次のように考えました。()にあてはまる数をかきましょう。

【 $80 \div 4$ の計算のしかた】

$80 \div 4$ をするとき、
 まず、80を10が()こと、考えます。
 そうすると、式は $8 \div 4$ と、かんたんになります。
 式の答えは、2です。
 しかし、この2は()が2こ、という意味なので、
 $80 \div 4$ の答えは、()になります。



[①知識・理解]

○ 次の計算をしましょう。

② $80 \div 8 =$

③ $66 \div 6 =$

④ $48 \div 2 =$

⑤ $93 \div 3 =$

[②～⑤技能]

○ 次の問いに答えましょう。

⑥ 4こで84円のあめがあります。あめ1こ分は何円ですか。

式

答え

⑦ ひろしさんは、 $96 \div 3$ の計算のしかたを次のようにせつめいしました。しかし、ひろしさんのせつめいにはまちがいがあります。
 $96 \div 3$ の計算のしかたを正しくせつめいしましょう。

(ひろしさんのせつめい)

$96 \div 3$ の計算は、
 まず、96を9と6に分けます。
 次に、それぞれを3でわります。
 $9 \div 3 = 3$
 $6 \div 3 = 2$
 さいごに、それぞれの答えを合わせます。
 $3 + 2 = 5$
 $96 \div 3$ の答えは5になります。

➡

(せつめい)

[⑥⑦考え方]

小学校第3学年 単元別確認テスト3 出題のねらい及び解答例、評価の観点、目標正答率一覧

単 元 名		〔2 わり算（啓林館P27～P28）〕〔10 大きい数のわり算（東京書籍P112～P113）〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		（４）除法の意味について理解し、それを用いることができるようにする。 エ 簡単な場合について、除数が１位数で商が２位数である除法の計算の仕方を考えること。							
問題 番号	出 題 の ね ら い	解 答 例	評価の観点			問題形式			目 標 正 答 率
			考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	選 択 式	短 答 式	記 述 式	
①	被除数が何十で、被除数の十の位が除数で割り切れる計算の仕方を理解している。	8, 10, 20			○		○		80%
②	被除数が何十で、被除数の十の位が除数で割り切れる計算ができる。	10		○			○		90%
③	被除数が何十で、被除数の十の位が除数で割り切れる計算ができる。	11		○			○		90%
④	被除数が２位数で、十の位と一の位がそれぞれ除数で割り切れる計算ができる。	24		○			○		90%
⑤	被除数が２位数で、十の位と一の位がそれぞれ除数で割り切れる計算ができる。	31		○			○		90%
⑥	問題文から（２位数）÷（１位数）の式を考え、答えを導くことができる。	84÷4＝21 21円	○				○		80%
⑦	（２位数）÷（１位数）の計算の仕方を説明することができる。	96÷3の計算は、 まず、96を90と6に分けます。 次に、それぞれを3でわります。 90÷3＝30 6÷3＝2 最後に、それぞれの答えを合わせます。 30＋2＝32 96÷3の答えは32になります。	○					○	70%
合 計 7 問			2	4	1	0	6	1	84%